

光西寺だより 第38号

海一味

発行所

大阪市平野区加美北1-25-1

光西寺

Tel 06-6754-6423

<http://www.oct.zaq.ne.jp/kousaiji>

「伝灯奉告法要へまたご一緒に」

光西寺副住職

田中 咀积

昨年十月より、西本願寺にて第二十五代専如門主伝灯奉告法要が本願寺でお勤めされています。その本願寺ですが、左右に二堂が配置されており、向かって右側が阿弥陀堂、左が御影堂です。平成二十六年に亡くなられた 梯 實圓先生（本願寺勸学・教学部門の指導者）のお話で、団体参拝の方から「難問」が寄せられたそうです。

「このお寺の本堂はどちらですか」「右側のお堂です。そちらには阿弥陀さまがご安置されていますよ」「左側の御影堂に親鸞聖人のお像が安置されているんです」「本堂の方が小さいのはなぜですか」「ここの梯和上は次のようにお答えになったそうです。



「この本願寺は親鸞聖人のお家と同じです。そのお家に阿弥陀さまがご安置されているんです。つまり、仏壇と同じです。どんなに立派な仏壇でもお家より大きい仏壇はありません。ですから、阿弥陀堂が少し小さいのです」何とも有難いお話です。元々、ご門主は「留守職」と呼ばれていました。本来居られるべき親鸞聖人のお留守を預かるということなのでしょう。

この、お役目が親鸞聖人から数えて二十五代にわたって連綿と続いていることを讃え、慶ばせていただくことがこの法要の本来的意味だと承知しています。来る五月三十日に光西寺もまた、団体で参拝させていただきます。皆さんもご一緒に参りませんか。



合掌

※正信念仏偈の意味を知ろう

正信…如来の言葉を信じる
(絶対に救う)

念仏偈…嬉しい時も悲しい時も
も唱える讃歌

*正信偈は親鸞聖人の著作であり、浄土正宗の立教のいわれを著わした「教行信証」の「行の巻」の最後に書かれているものです。

○常向鸞処菩薩礼

常に大師のおられた北の方向に向かい「曇鸞菩薩」と礼拝(らいはい)された

○三蔵流支授浄教

菩提流支(インドの仏教学僧)から浄土教の經典を授けられ

○梵焼仙経帰楽邦

仙人の経を焼き捨て(梵焼)、阿弥

陀仏の浄土の教えに帰入された

○天親菩薩論註解

天親菩薩の「浄土論」を註解(ちゅうげ)として解説書『往生論註』を書かれて

○報土因果顕誓願

お浄土に生まれる因(いん)も果(か)も如来の誓願によると示された

○往還回向由他力

お浄土に往生するのも、迷いの世界で人々を救うのも他力による



(続きは次号にて)

盂蘭盆法要 献灯の集い

お盆の法要へ是非お参り下さい。昨年より午前もありません。夜は献灯をお供えしお勤めいたします。先祖・故人の名前を書いて感謝の心をお供えください。一灯に数名記入できます。

八月十六日(水)

●午前十時半〜合同追悼法要

●午後一時半〜

●午後七時〜 献灯の集い

(受付PM五時半〜)

献灯

一灯 参千円





門信徒会より記念品贈呈



法観寺住職 廣瀬 俊先生



住職挨拶



若坊守得度披露挨拶

ようこそそのお参り
有難うございました

四月十五・十六日の二日間、永代経法要並び若坊守得度披露式を無事終えることが出来ました。多くの方にお参りいただき、ありがとうございました。

第十九回ふれあい旅行募集

年に一度のふれあい旅行も十九回目を迎える事になりました。今回は和歌山の道成寺を拝観し・湯浅醤油の九曜蔵など日帰りで見学の予定です。是非ご参加下さい。

行き先 道成寺（絵解き法話）

白崎海洋公園
湯浅醤油の九曜蔵見学 他
（日帰りです）

日時 六月四日（日）

費用 八、〇〇〇円

（バス代、昼食代・拝観料含む）

募集人員 四十人

詳しいことは追ってお知らせします。すでにお早めにご連絡下さい。



拝むとは
拝まれていた事に
気付き醒めること

現代は一人一人が他の事に無関心で自分の事ばかりを考えているように感じます。けれども、人間は網目のようにつながり、親子・兄弟・いとこ・親戚・友人・知人・隣人と関係し、互いに気付け合っている存在です。互いに気付け合っている存在です。互いに気付け合っている存在です。互いに気付け合っている存在です。

おがまいる者も

おがまれている

拝まないときも

おがまれている

報恩講法要のお知らせ

報恩講法要を勤修いたしますので是非お参りください。改めてご案内します

平成二十九年

十月二十一日(土) 一時半より

二十二日(日) 一時半より

岡山県高梁市・浄福寺住職

本願寺派布教使

山下 義円 師



法話と茶話会の開催日

平成二十九年

五月二十六日(金) 午後二時～

仏教格言 仏の一言

他流には名号よりは絵像、
絵像よりは木像というなり。

当流には木像よりは絵像、
絵像よりは名号というなり。

「御一代記聞書より」

門信徒会会員募集いたします

門信徒会では光西寺との仏縁をより深め会員相互のヨコのつながりを密にすると共に文書伝道(海一味・標語カレンダー等)そして光西寺を護る母体です。お知り合いの皆様にご入会をお勧めくださいますようお願い致します。

若坊守のひとりごと

何十年か振りに京都動物園に行った。旭山動物園が注目されてから、各地でリニューアルが増えているらしい。

昔は臭くて寂れたイメージだったのが、園内に小川が流れてベンチも多く、高齢の動物は床暖房の上でスヤスヤ寝ている。建物の間の網のトンネルをレッサーパンダが行ききしているのを下から観られたりと、昔はゾウやキリンも間に堀があったり遠くから観ていた感じが、目の前まで来る距離に造られていて、動物との距離感がとても近くなっている気がした。すぐ見終わるつもりが写真をとるまで楽しんでしまった。若い子連れのママ同士の「思っていたより楽しかったね。また来たいなく」という会話を聞いて、みんな同じ事を感じているのかなと思える。長年行っていない場所へ久しぶりに行くと新しい発見ができて面白い。

